

各会計の予算額

会計名	補正額	予算計
一般会計	500,340千円	7,653,542千円
国民健康保険事業会計	△186千円	1,318,082千円
介護保険事業会計	△696千円	1,489,929千円
特別養護老人ホーム事業会計	16,194千円	479,224千円
住宅用地造成事業会計	3,125千円	7,797千円
簡易水道事業会計	47,450千円	121,672千円
下水道事業会計	11,106千円	122,785千円
特定地域生活排水処理事業会計	0円	122,878千円
後期高齢者医療事業会計	△21,684千円	186,814千円

一般会計主な歳出を紹介

新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金活用事業			
福祉課	コロナ対策事業	避難ルーム（テント）の購入	2,218千円
保健子ども課	コロナ対策事業	抗原検査キットの購入	1,573千円
農林振興課	米経営者次期作支援交付金	米の作付面積の定額補助	18,000千円
商工観光課	時短要請協力金負担金	第6派分協力金の給付	3,371千円
商工観光課	生活応援商品券事業	生活応援券の発行	47,315千円
社会教育課	図書館環境整備事業	空調設備の工事費	1,351千円
学校教育課	小中学校空調設備設置事業	エアコン設置費	16,000千円
学校教育課	学校給食補助事業	学校給食費の半額補助	15,601千円

その他にも一般会計に以下の予算が含まれています			
空き家バンク活用促進事業補助金	6,000千円	新婚さん定住促進奨励金	3,000千円
定住促進奨励金	23,950千円	和水町移住支援金	1,000千円
出生祝金	10,400千円	低所得の子育て世帯に対する子育て世帯生活支援特別給付金	6,500千円

陳情・請願

【陳情】 全て配布

- 消費税インボイス制度の実施中止を求める陳情書
- 女性トイレの維持及びその安心安全の確保について国民の祝日「海の日」を7月20日に固定化する意見を求める陳情書
- 沖縄を「捨て石」にしない安全保障政策を求める意見の提出を求める陳情書
- 感染拡大に強い地域経済にする為、最低賃金の大幅引き上げと全国一律制度を求める陳情書

【請願】

三加和温泉ふるさと交流センター（なごみの湯）およびその関連施設を民間に売却しない様を求める
審査結果
継続審査
付託委員会
厚生建設経済常任委員会

令和4年度 一般会計補正予算

令和4年
6月
定例議会
報告

一般会計補正予算総額

総額 76億5,354万円の内訳

千円単位は四捨五入しています。

令和4年6月議会定例会は6月6日から10日までの5日間の会期で開会され、令和4年度補正予算など14議案（条例2件、補正予算10件、その他2件）が上程され、それぞれ可決された。陳情、請願文書については計6件、審査結果は配布が5件、委員会付託が1件であった。

財政用語の解説

【地方交付税】

町の財政力に応じて国から交付されるお金

【国庫・県支出金】

町が行う事業に対して国・県から交付されるお金

【町債】

事業の財源に充てる為、国などから借りたお金

【民生費】

生活保護や高齢者福祉、障がい者福祉など町の福祉に係るお金

【総務費】

公務員の給与や選挙、消防関係に係るお金

【衛生費】

健康増進、疾病予防、環境保全などに係るお金

【土木費】

公共事業のうち土木事業などに係るお金

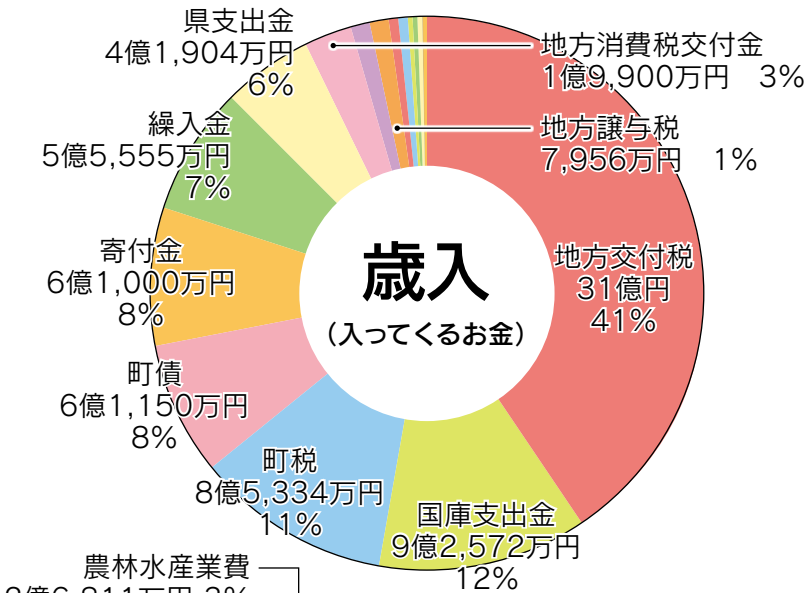
【公債費】

事業を行うときに借りたお金の返済金



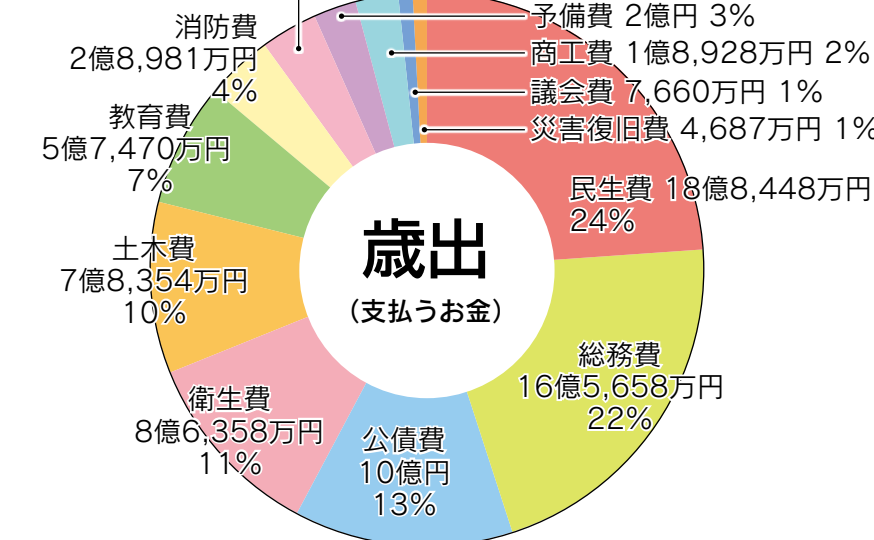
歳入

（入ってくるお金）



歳出

（支払うお金）



新議長・副議長就任 よろしくお願ひします！

小暑を過ぎ、夏本番を迎えました。皆様におかれましては、暑さに負けず益々ご清祥のことと拝察いたします。さて、3月の町議会議員選挙で12人の議員が誕生しました。また、4月の臨時議会において、名譽ある和水町議会第6代議長に就任いたしました。大変光栄に存じますと共に、その責任の重さを感じています。

さて、新型コロナウイルス感染症は、発生から2年半が過ぎましたが、終息の気配はありません。今後も感染防止に努めながらの生活が必要です。更には、ロシアのウクライナに対する侵略戦争も長期間にわたっており、停戦合意も戦争終結も見通せない状況です。そして、身近には人口減少、少子高齢化が進行しています。

コロナ禍、ウクライナ戦争、そして過疎化は、私達の暮らしや経済に大きな影響を与えています。さて、石原町長は、

「人が元氣、町が元氣、新しい和水を創る」をテーマに7つの政策を提示されました。今後、その実現に向けた様々な施策や事業が提案されるものと思っています。

そして、新たにスタートした議会は、町民の皆様の負託に応え、議論を重ねたうえで決定する町の最高議決機関として、その役割を果たさなければなりません。と同時に議会活動を通して執行部と協力して、「住んで良かった。住み続けたい和水町」になるよう努めなければなりません。

私は議長として、議会秩序の維持と円滑な議会運営に努め、議員各位と共に、和水町発展に寄与できるような議会づくり、精一杯努力してまいります。

どうぞ、町民の皆様には議会に対するご指導、ご支援を心からお願ひを申し上げますと共に、ご健勝とご多幸をお祈り申し上げます。

町民の皆様には、日頃より議会活動並びに町政全般に対してご理解とご協力を賜りまして、厚くお礼申し上げます。この度、議員各位のご推挙により、副議長に就任させていただきました。その責任の重大さを痛感し、身の引き締まる思いであります。議員皆様のご協力を頂きながら、議長を補佐し、公正かつ円滑な議会運営を目指していきたいと思ひます。

町民の負託に応じ、信頼を得られるように誠心誠意尽力させていただきますので、よろしくお願ひ致します。

新型コロナウイルス感染症の終息の目途が立ちません。また、ロシアによるウクライナ侵攻も長期間に渡っており、町民生活や、経済活動に多大なる影響を及ぼし、町民の皆様におかれましては、この状況に大きな不安を抱いておられることと存じます。

町民生活と健康を守るため、議会として真摯に受け止め、



議長
高木 洋一郎
たかき よういちろう



副議長
蒲池 恭一
かまuchi きょういち

議会運営に取り組んでまいります。

今回の選挙では、3人のフレッシュな新人議員が誕生となりました。新しい発想で議会に新風を巻き起こしてくれ、今後とも町議会に対しまして、一層のご理解、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

6月議会 議案審議

採決結果 町長提出議案一覧

条補正その他報告人計	例：2件 予算：10件 他：2件 告：2件 事：6件 22件
------------	---

議案番号	区分	議 案 名	審議採決の結果
議案第34号	条例	和水町り災見舞金条例の一部改正について	原案可決
議案第35号	条例	和水町道路構造の技術的基準を定める条例の一部改正について	〃
議案第36号	補正予算	令和4年度 和水町一般会計補正予算（第1号）	〃
議案第37号	補正予算	令和4年度 和水町国民健康保険事業会計補正予算（第1号）	〃
議案第38号	補正予算	令和4年度 和水町介護保険事業会計補正予算（第1号）	〃
議案第39号	補正予算	令和4年度 和水町特別養護老人ホーム事業会計補正予算（第1号）	〃
議案第40号	補正予算	令和4年度 和水町住宅用地造成事業会計補正予算（第1号）	〃
議案第41号	補正予算	令和4年度 和水町簡易水道事業会計補正予算（第1号）	〃
議案第42号	補正予算	令和4年度 和水町下水道事業会計補正予算（第1号）	〃
議案第43号	補正予算	令和4年度 和水町特定地域生活排水処理事業会計補正予算（第1号）	〃
議案第44号	補正予算	令和4年度 和水町後期高齢者医療事業会計補正予算（第1号）	〃
議案第45号	補正予算	令和4年度 和水町病院事業会計補正予算（第1号）	〃
議案第46号	その他	熊本市町村総合事務組合規約の一部変更について	〃
議案第47号	その他	財産の無償貸与について（菊水ロマン館駐車場）	〃
報告第1号	報告	令和3年度 和水町一般会計繰越明許費繰越計算書について	報告
報告第2号	報告	令和3年度 株式会社 菊水ロマン館の決算報告について	〃
諮問第1号	人事	人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについて	原案決定
諮問第2号	人事	人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについて	〃
諮問第3号	人事	人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについて	〃
諮問第4号	人事	人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについて	〃
諮問第5号	人事	人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについて	〃
同意第6号	人事	和水町教育委員会委員の任命について	原案同意

議会運営委員会



右から
 笹淵 賢吾 委員
 荒木 宏太 委員
 坂本 敏彦 委員長
 竹下 周三 副委員長
 白木 淳 委員
 木原 泰代 委員

- 議会運営の全般に関する事項
- その他議会運営委員会の所管に属する事項

総務文教常任委員会



右から
 坂本 敏彦 委員
 高木 洋一郎 委員
 笹淵 賢吾 副委員長
 荒木 宏太 委員長
 千々岩 繁 委員
 齊木 幸男 委員

- 総務課、まちづくり推進課、税務住民課、会計室、議会事務局、学校教育課、社会教育課業務全般
- その他総務文教常任委員会の所管に属する事項

令和4年 議長・副議長選挙結果

議 長 選 挙		
高木 洋一郎	7	
齊木 幸男	4	
笹淵 賢吾	1	

副 議 長 選 挙		
蒲池 恭一	7	
齊木 幸男	5	

議会広報調査特別委員会

荒木 宏太 委員長
 木原 泰代 副委員長
 亀崎 清貴 委員
 笹淵 賢吾 委員
 白木 淳 委員
 千々岩 繁 委員

- 議会広報の編集、発行などに関する事項

有明広域行政事務組合議会議員

坂本 敏彦 議員
 亀崎 清貴 議員

- 組合議会の定数は17名。
 荒尾市4名、玉名市5名、玉東町2名、南関町2名、長洲町2名、和水町2名で構成

厚生建設経済常任委員会



右から
 蒲池 恭一 委員
 秋丸 要一 委員
 竹下 周三 委員長
 木原 泰代 副委員長
 白木 淳 委員
 亀崎 清貴 委員

- 福祉課、保健子ども課、町立病院、特別養護老人ホーム、建設課、商工観光課、農林振興課業務全般
- その他厚生建設経済常任委員会の所管に属する事項



蒲池 恭一議員

コミュニティバスの導入は必要不可欠だ!!

問 高齢者の方々が安心して暮らせる環境づくりのためには、コミュニティバスの導入が必要不可欠だと考えるが、見解を問う。

答 (町長) 路線バスの廃止などに伴う交通弱者の皆様方の移動手段として現在運行している乗合タクシーの利便性の向上、コミュニティバスの導入は、地域公共交通網形成計画との整合性や公共交通会議での審議を重ね検討する。

通手段が確保できるように努める。

問 新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金事業は、生活困窮者対応の中で、高齢者の方々への支援が少ないと思う。主な取り組みを伺う。

答 (町長) 原油高騰・物価高騰により、経済的に負担増となった方々への支援として、全町民一人当たり5,000円の生活応援商品券の支給を行い、また、小中学生のいる世帯への負担軽減策として、給食費の半額補助を行う。燃料高騰や米価下落により、収入に影響が出ている農業者の皆様へ、作付け意欲を高めるための補助金を支給する支援を行う。

問 高齢者の方々の、買い物に行くのに困っている・病院に行くにも困っているとの声をたくさん聞く中で、免許返納を促す上でも、コミュニティバスの運行を早急に導入して頂きたい。

答 (町長) なるべく早い段階の交



坂本 敏彦議員

コミュニティバスの導入について 国民健康保険税について

問 公共交通空白地帯の解消に向けた取り組みについて問う。

答 (町長) 乗合タクシー「あいのりくん」の町外への乗り入れを、近隣市町と検討を重ね実現できるように努力していく。

コミュニティバスの導入も前向きに進めていく。地域公共交通網形成計画との整合性や公共交通会議での審議を重ね検討し、判断すべきと考える。

見直す」としたものの。

問 4人家族所得150万円の世帯の国保税はどの程度か問う。

答 (町長) 医療保険分のみで計算すると26万5,400円となり単純比較はできないが、この税額は荒尾、玉名6市町と比較すると、軽い負担である。

問 公的医療制度のない国の医療状況について。

問 臨時議会で専決処分された国民健康保険税条例の改正内容について問う。

答 (町長) アメリカでは、民間保険システムとなり大部分の人が民間医療保険を利用している。しかし高額な医療費支払い、これを原因とする自己破産が深刻な社会問題となり、高額な保険料が払えず無保険者が増えている。



竹下 周三議員

住民関係を最大限に重視し、政策実現を望む

問 48歳・職員から町長に当選、新リーダーとしての視点から何をやりたいのか、熱い想いを問う。

答 (町長) 「生産年齢人口減少対策」が最優先課題と考える。

問 幹部職員の目線がずれると、どんどん波及的にずれていく。純粹で正当な評価の出来る関係性を構築して人と人、信頼関係を最大限に重視しながら政策を実現して頂きたいと思うが、健全な職場環境に必要な対策についての想いは。

答 (町長) 研修に励み職員それぞれの能力を最大限に発揮し、質の向上と組織の考える力の向上に努めたい。また職場環境整備(安全衛生委員会設置)等に加えて職員の健康保持と増進支援が重要と考える。

問 議会も4年前からペーパーレスに向け、タブレット等の導入にあたって研修等をして検討しているが、町長の思いは。

答 (町長) メディアとか先進団体

事例を見ると続々とタブレット導入が進んでいる現状を把握しており、紙資源の減少、ペーパーレスにも繋がります。タブレット等活用に向け議会とも意見を交換しながら進めていく。

問 玉名八女線、旧春富小学校跡より先の拡幅について、町長の思いは。

答 (町長) 自分も通行しにくい状況であると認識している。熊本県に改めてお願いする。

問 近年の災害等を考慮して最大限の準備と対策等、一步を踏み込んだ対応を望む、公害協定は守られているのか。

答 (町長) 町の立場は立会人である。現在の所、悪臭防止法や条例の規制対象に成る状況ではないが、法的な規制では解決に結びつかない事も多く、行政としても県の環境担当部署、業務関連部署と連携し、適切な指導を行っていく。



木原 泰代議員

和水町の生活習慣病予防対策について

問 国民健康保険特定健診の受診率の現状、向上に向けた取り組み、特定保健指導の状況について問う。

答 (町長) 令和3年度の受診率は62・8%で熊本県下3位。令和4年希望調査の回収率は80%弱で前年度と大きな変化はなかった。令和2年度の特定保健指導率は、81・2%で、県下で12位。その他の指導は、ハイリスク者等、優先順位を決め指導してる。

問 保健事業の成果と残された健康課題、解決に向けた取り組みについて問う。

答 (税務住民課長) 早世(64歳以下)の死亡は少なく、長寿の町。国保の総医療費は減少し、後期高齢者の医療費も安定している。残された課題は、国保一人当たりの医療費が、県下で15位と高い、後

期高齢者医療の脳卒中の割合が県内2位であること。高血圧対策の更なる充実が必要で、保健指導、受診勧奨、減塩対策等の保健事業を強化していく。

問 広報で小学生の80%が塩分とり過ぎとあったが詳細を問う。

答 (保健子ども課長) 令和2年度小学6年生の尿検査(推定1日食塩摂取量検査)で受診者33人中27人(81・8%)が小学生の基準値を超えていた。今後学校教育課との連携、妊娠期からの保健指導、食生活改善事業に一層取り組んでいく。

問 対策に対する覚悟を再度問う。

答 (町長) 和水町健康増進計画に添って、町の財産でもある町民の命と健康を守る生活病予防対策を一層充実させる。



齊木 幸男 議員

町長は公約を掲げて当選された。民意は変わった。見直しを考える十分なきつかけになるのでは。

学校給食費の全額無償化は。

問 公約の給食費無償化は。

答 (町長) 本年度は半額助成。

問 給食費無償化は子どもの数が多い家族の負担減になるのでは。

答 (町長) 多子世帯や第二子・第三子への全額補助等は検討する。

問 町のグラウンドはグラウンドゴルフ等には無償化すべきでは。

答 (町長) あらためて検討する。

問 グラウンドゴルフ等のトイレは。

答 (町長) 三加和支所前のグラウンドトイレは洋式に改修。総合グラウンドのトイレは増設を計画。

問 南校区など私有地でグラウンドゴルフをされている方のトイレの課題を聞いたことは。

答 (町長) 南校区の件についてはまだ私の耳に届いていない。

問 旧南小(幼稚園)跡地を公園を兼ねた避難所にしては。

答 (町長) 初めて聞いた。民地で

学校跡地の状況

旧学校名 事業者	状況	町民の 新規雇用	町の方針
東小 (株)山鹿釣具	建屋は完成稼働中 本社移転も 見据える	数名程度	町内雇用をお願いしていく。
西小 (有)ミドリ・ ワズホビー	稼働中	正職員1名 アルバイト 2名	進展状況開示の範囲で、区長・住民に周知したい
神尾小 (株)Ring	工事着工7月頃 竣工来年7月頃		
南小 (株)丸美屋	ウクライナ情勢と 物価高騰により 着工竣工未定		

あり今すぐ判断はできない。
問 用木公民館も洪水浸水想定区域に入った。南校区では洪水土砂災害想定区域以外の公民館は無くなくなった。今後の防災の取り組みは。
答 (総務課長) 平成30年の防災マップを改正し、各地域を見直しして避難所の位置づけを検討したい。



荒木 宏太 議員

旧神尾小学校跡地
活用事業について

問 旧神尾小学校跡地活用事業については令和3年3月議会で跡地施設の売却が承認され、令和3年6月17日に活用事業者との売買契約を締結している。令和2年に実施された住民説明会では、令和4年6月からは操業開始の計画のほ

ずであった。しかし、事業者との売買契約から(2021年6月)約1年経っている現在、当初の計画からは1年以上遅れている状況である。現在の状況と今後のスケジュールについては。

答 (町長) 要因として世界的なコロナ感染の影響や半導体不足、原油の高騰等がある。また景観に配慮し、現存校舎を活かす改修の検討を行われた結果、老朽化に対する改修案や耐震工事等の設計に時間がかかったと聞いている。今後のスケジュールについては令和4年7月の造成工事、令和5年7月の竣

工、その後8月又は9月の操業開始と聞いている。

問 この事業の目的は、雇用創出や地域活性化、地域貢献であり、土地の売却は手段である。

行政側は、売買契約が締結した段階で、目的の達成として認識しているのかもしれないが、一方で町民からは、売買契約が終わったのにまだ工場は着工、稼働なげしないのか?と疑問を呈している方々の声がある。つまり、この事業により地域活性化や雇用創出、地域貢献してこそ目的達成となると思うがどうか。

答 (町長) 跡地活用による地域活性化が命題である。地域貢献、地域雇用がきちんとなされていくように企業と話しながら、そして、地域住民の方々に情報提供しながら進めていきたい。



亀崎 清貴 議員

人口減少・教育振興対策と
環境整備について

問 本町の空き家増加をどのように捉え、定住化対策について具体的な対策は。

答 (町長) 空き家の増加の要因としましては、人口減少や核家族化の進行が考えられる。

町内の空き家の総数は589件。可能な限り有効活用していきたい。住みたくなる、魅力のある町の実現に向け、和水平定住促進補助金等の施策を実施する。

問 町長が掲げられる住宅宅地はどここの場所を想定しているか。

答 (町長) 基本的には民間を活用したPFI事業等での実施ができないかと考えており、場所については、未定である。地域のニーズを把握し、検討していきたい。

問 給食費への補助など子育てに特化した次世代型の育成基金を創設して運用すべきと思うが如何か。

答 (町長) ふるさと納税を基金に

積み立てて子育て施策に使っていければと考える。

問 新たに公園を整備する前にあばか人家的の公園など放置されている公園を整備し利用できる環境を整えられないか。

答 (町長) 新しい公園も考えながら、既存公園の状況を把握と磨き上げも行いながら皆様に喜ばれる公園づくりを目指したい。

問 中学校の部活動廃止が議論されているがその対策と考えを問う。

答 (教育長) スポーツ庁有識者会議では、2025年度末を目標に休日の公立中学校の部活動を地域移行する提言を了承された。和水平町では、昨年度、各中学校の社会体育移行へ向けたアンケートを実施し、2025年度末目標に移行するよう、生徒や保護者に説明を図る予定である。



秋丸 要一 議員

町水道使用料金の
価格は統一すべき!
町水道使用料金の徴収体制の現状
と料金の格差是正について

問 町水道使用料金の徴収体制の現状と料金の格差是正についてその実態はどうなっているか。

答 (町長) 町には、簡易水道事業(馬場・大藤・東郷)、飲料水供給施設事業(久井原、平野ビレッジ、さくらタウン)、専用水道事業(中林水源)がある。

料金徴収体制の現状は、町の徴収、シルバー人材センターに委託、施設使用者で支払う方法など徴収方法が違っている。使用料金については、料金の違いがある。料金の見直しを図るために、調査している。

問 長年なぜ是正措置をしなかったのか。その理由を聞きたい。以前にも指摘があったと思うが、改善できたか。

答 (建設課長) 各施設の事業形態の成り立ちが違いため、指摘をうけて是正措置にむけて検討してきた。
問 各施設の事業形態の現状はどの様になっているか。

答 (建設課長) 専用水道事業である三加和地区の中林水源については、元々町施設の水道として掘られ板楠団地、学校、駐在所、三加和支所、野田産業、公民館等へ供給。余剰分を住宅の方へ供給している。量水器もなく使用料や配水量も解らず現在まで把握できてない。水の使用量を調査している。

問 ポンプ、電気代を含めて、町の税金で更新費用から維持管理費用についてすべて町が負担しているし、同じ町水だから水道使用料金の単価も徴収方法も統一すべきであると思うが。今のままで町民に納得のいく説明ができない。

答 (建設課長) 出来るように協議している。
問 見直しの時期は明確に定めて料金の格差是正、改善にむけ早急に推進して貰いたい。町長の見解は。

答 (町長) 各施設の状況を勘案し、答えを出したい。



のりあいタクシーの利便性向上を
農業の厳しいなか農業振興策は
給食費無償化・学校のトイレに
生理用品の配備、公園に遊具を

問 昨年10月1日から三加和地域のバス路線が廃止され利用者は病院や買い物で不便になっている。基本的な対策は。

答 (町長) より良い「あいのりくん」事業に努める。近隣市町の乗り入れ実現に努力する。コミュニティバスの導入を検討したい。

問 のりあいタクシー事業は「地域公共交通の活性化及び再生に関する法律」及び「道路運送法」に基づいて行われているがこの法律の内容、主旨、目的を問う。

答 地方公共団体による地域交通への積極的な関与が法律で求められ、計画の作成を努力義務化しているが町は計画を作成しているのか。

答 (まちづくり推進課長 法律の内容については詳しくは承知していない。計画は定めている。

問 農業センサスによる町の農

業人口、作付面積について30年前、現在の状況はどうか。町の農業振興策は。

答 (町長) 30年前と現在を比較すると農業従事者は3分の1に激減し作付面積も4割程度減少。

農業振興は担い手不足、高齢化、耕作放棄地等の問題に力を入れる。

問 コロナ禍の子育て支援として小中学校の給食費無償化、学校のトイレに生理用品の配備、公園等に子どもが遊べる遊具の配置を。

答 (教育長) 小中学校給食費は2分の1を助成する。生理用品は小中学校の保健室に配備し、トイレにお助けボックスとして使い捨て下着や衛生用品を常備し、誰もが自由に使用できるようにしている学校もある。

答 (商工観光課長) 公園の整備は町長の公約にもあり今後検討する。



ふれあい会館・いじめ等について

問 ふれあい会館の利用目的を問う。

答 (町長) 平成7年度に町民の文化及び体育振興を図るために開設されたが、昨年より町の倉庫として使用している。

問 これまでの利用状況について問う。

答 (社会教育課長) 地震前の27年度は6,874人、30年度は3,478人となっている。

問 現在倉庫となっているが、住民には説明してあるのか。

答 (町長) 広報等による住民への説明は行っていない。

問 倉庫を元の施設に戻す計画はあるのか。

答 (町長) 令和3年度に用途変更し、倉庫として使用継続を考えている。

問 町内の小中学校において不登校・いじめについて現状を伺いたい。

答 (教育長) 令和2年度は不登校児童生徒は7名、いじめ認知件数は4件、令和3年度は不登校児童生徒は10名、いじめ認知件数は2件、今年度は5月現在で不登校児童生徒2名、いじめ認知件数ゼロとなっている。不登校に関しては増加傾向にある。

問 どのような人がどんな対応をしているのか。

答 (教育長) 担任が児童生徒の状況を把握し話をしたり、家庭訪問を行っている。各学校では支援委員会等を開き、管理職や養護教諭、支援員、外部専門家(スクールカウンセラー・スクールソーシャルワーカー)等が対応している。町では今年度から不登校等学習支援員を配置できるようにしている。また、町の福祉部局を含めたケース会議も随時行うなど関係機関とも連携して取り組んでいる。



シニアカー購入の補助制度の復活を願う

問 令和4年4月1日にプラスチックに係る資源循環の促進等に関する法律が施行されたが、町の取り組みや町民への周知はされたか。

答 (町長) まだ具体的な取り組みは実施していない。まずは、この法律の制度等を町のホームページ、広報紙等で広く周知し、プラスチックを含め他のごみの分別についてもさらなる周知啓発を行い、ごみの減量に努めていかなければならないと考えている。

問 4月1日から施行されているので、白色トレイだけでも分別するなど対応を急ぐべきではないか。

答 (税務住民課長 現在、熊本県下6自治体がプラスチックの分別を行っている。本町を含む南関町、長洲町、玉名市岱明町の1市3町が構成するクリーンパークフアイブの焼却炉を利用しているが、

プラスチックを助燃材として利用している。今後の方向性を含めて、近々1市3町で検討会を行うことで現在進めている。

問 令和4年2月末で終了となったシニアカー購入の補助制度において、補助の利用者数と検証が行われたか問う。

答 (福祉課長) 30台分を予算化して実績は13台だった。9月頃をめどに利用状況などの聞き取り調査を実施する。本事業に係る検証については、購入後の使用状況や道路環境の安全面の課題など、総合的に判断する必要があると考える。

問 シニアカー購入の補助制度を再度考えられないか。

答 (町長) アンケート調査等の結果を踏まえて、住民の皆様、高齢者の皆様のニーズ等も把握しながら検討していく。

